

# 双里とのお

学校目標【ふれあい チャレンジ きらりかがやく 三里の子の育成】

～ すべては子どもたちの笑顔のために ～

## 三里小学校の歴史

10月24日(木)13:30～15:00に門前の山崎和馬先生(第47代三里小校長)に來校いただき、三里小学校の歴史についてご講義いただきました。対象は4年生で、総合的な学習の時間で「三里小学校の昔」の学習内容でした。「双里小学校」→「三里尋常高等学校」→「三里尋常小学校」→「三里国民学校」→「三里小学校」という校名の変遷や朝・昼・下校時と一日三回の掃除、朝と帰りの校門をくぐる時には一礼をすることや、昭和18年に講堂ができたこと、運動会は11月3日の明治節(昭和初期まであった祝日)に実施等々を知ることができました。また、今の校舎の「なかよしルーム」は、縦割り班の重要性から、和馬先生が提案し作られた部屋であることも知りました。教えていただいた三里小学校の歴史を次の世代に伝承できた時間でした。最後に、今の小学生が大切に学校(校舎)を使ってくれていることがとても嬉しいと感謝の気持ちを伝えられました。長時間に渡り、ご講義いただきありがとうございました。



## 小城中文化発表会

10月26日(土)小城中学校において、文化発表会が行われました。オープニングイベントで「小城太鼓」の演奏がありました。三里小学校の児童も出演し、ベテランの演奏家に引けを取らないほどの見事な演奏でした。各学年の発表も見応えがある内容でした。休憩の時間には職場体験の発表新聞や絵画・書道作品などを見て回りました。三里小学校出身の生徒もがんばっていました。卒業生全員にはお会いできませんでしたが、数人に声をかけてもらって嬉しく思いました。



## 防煙教室

11月14日(木)5時間目、校医の酒井正平先生(酒井内科クリニック院長)を講師に、たばこが人体に与える影響について学習しました。対象は6年生です。将来の自分の体の健康を維持するために、正しい知識を身につける学習をしました。近年、加熱式たばこが主流になりつつありますが、煙が目に見えなくなったからと言って、決して安心して喫煙して良いものではないようです。済生会病院のホームページには、「加熱式タバコによって身体に取り込むニコチンの量は紙巻タバコと同等かそれ以上、タールは70%程度であり、健康への悪影響やリスクの低減は期待できません。…また、電子タバコの受動喫煙がもたらす害は不明な部分が多いですが、ホルムアルデヒドなど、アレルギーの原因となる有害物質が検出されているため、受動喫煙で吸い続けることでなんらかの健康被害や発がんのリスクを高める可能性があります。」という記述があります。愛煙家の方は、お子様を含めたご家族で話題されてみてはいかがでしょうか。